



位置図

くかくみぞ へいあんじだい
区画溝（平安時代）



こくふ かんれん しせつ くかくみぞ かのうせい
国府関連施設の区画溝の可能性がある。
にしがわ こうせい ほ あな らん
西側は後世に掘られた穴（かく乱）の
えいきょう みぞ いちぶ こわ
影響で、溝の一部が壊されている。

⇐ここに合わせる

へいあんじだい つく みぞ こくふ
平安時代に作られた溝です。国府にあ
やくしよ まわ かこ みぞ
ったお役所の周りを囲んでいた溝かも
しれません。

対応テキスト：
text01.glb
区画溝

※下段：for Kids



位置図

出土位置

りよくゆうとうき わん
緑釉陶器 (碗)



みぞ まいど しゅつど りよくゆうとうき ていぶ
溝の埋土から出土した緑釉陶器の底部。
そこ いとき こん のこ
底には糸切り痕が残っている。

⇐ここに合わせる

みどりいろ とうき へいあんじだい
きれいな緑色の陶器です。平安時代に
こうきゅうひん
は高級品とされていました。

※下段：for Kids

対応テキスト：
text02.glb
緑釉陶器

対応モデル：
model02.glb



位置図

出土位置

すえき たかつき
須恵器 (高坏)



すえき たかつき きやくぶ つうじょう こと
須恵器の高坏の脚部。通常とは異なり、
なまやしあ
生焼けのような仕上がりになっている。

⇐ここに合わせる

わん した あし かたち しょつき
お碗の下に脚がついている形の食器で
あし ぶぶん み
す。脚の部分だけが見つかります。

対応テキスト：
text03.glb
須恵器

対応モデル：
model03.glb

※下段：for Kids



位置図

出土位置

はじき さら
土師器（皿）



どこうまいど しゅつど はじき さら いち
土坑埋土から出土した土師器。皿の一
ぶ おも
部と思われる。

⇐ここに合わせる

はじき へいあんじだい しょつき
土師器とよばれる平安時代の食器です。
さら つか
お皿として使われていました。

対応テキスト：
text04.glb
土師器

対応モデル：
model04.glb

※下段：for Kids



位置図

へいあんじだい
ピット（平安時代）



ちょうさく ほうとうがわ いち あな いぶつ
調査区北東側に位置する穴。遺物が
しゅつど
まとまって出土している。

⇐ここに合わせる

へいあんじだい ほ あな しょっき
平安時代に掘られた穴。食器などがた
くさん埋まっていました。

対応テキスト：
text05.glb
ピット（平安時代）

※下段：for Kids

出土位置



位置図

すえき
須恵器など



なか すえき つきみ かめ
ピットの中には、須恵器の坏身や甕の
いちぶ かさ う
一部が重なるようにして埋まっていた。

⇐ここに合わせる

あな なか はいいろ わん おお つぼ
穴の中から、灰色のお椀や、大きな壺
いちぶ み
の一部が見つかります。

対応テキスト：
text06.glb
須恵器など

対応モデル：
model06.glb

※下段：for Kids



位置図

くかくみぞ
区画溝



こくふ かんれん しせつ くかくみぞ かのうせい
国府関連施設の区画溝の可能性がある。
ぜんけい ほ さ まえ ほ さ
全景データは掘り下げ前で、掘り下げ
ご みぞ
後はこのような溝になる。

⇐ここに合わせる

こくふ やくしょ まわ かも
国府にあったお役所の周りを囲んでい
みぞ
た溝かもしれません。

対応テキスト：
text07.glb
区画溝

※下段：for Kids



位置図

出土位置

はじき わん
土師器 (椀)



くかくみぞ はじき わん しゅつど
この区画溝からは土師器のお椀が出土
している。

⇐ここに合わせる

あか いろ しょつき はじき しゃしん
赤い色の食器（土師器）です。写真の
はじき わん そこ ぶぶん
土師器はお椀の底の部分です。

対応テキスト：
text08.glb
土師器

対応モデル：
model08.glb

※下段：for Kids



位置図

出土位置

りよくゆうとうき さんそくばん
緑釉陶器（三足盤）



うえ さつえい
上から撮影



よこ さつえい
横から撮影

ばん みっ あし あいちけん
盤に三つの足がついたもの。愛知県に
さなげよう つく
ある猿投窯で作られたもの。

⇐ここに合わせる

みっ あし めずら かたち とうき
三つの足がついた、珍しい形の陶器で
す。

対応テキスト：
text09.glb
緑釉陶器

対応モデル：
model09.glb

※下段：for Kids

いど
井戸



きんせい いこう いど いどない みず あ
近世以降の井戸。井戸内は水をくみ上
さい しょう てつせい つつ
げる際に使用されてた鉄製の筒がある。

⇐ここに合わせる

きんせい いこう いど いどない みず あ
近世以降の井戸。井戸内は水をくみ上
とき つか てつせい つつ
げる時に使われていた鉄製の筒があり
ます。

対応テキスト：
text10.glb
井戸

※下段：for Kids



位置図

はじき とうみょうざら
土師器 (灯明皿)



はじざら さら ふち たんかぶつ ふちやく
土師皿。皿の縁に炭化物が付着してお
とうみょうざら つか
り、灯明皿として使われていたものと
おも
思われる。

⇐ここに合わせる

あか さら あぶら
明かりをともすために皿のなかに油を
ひた ひ
いれ、ひもを浸し、ひもに火をつけて
つか
使われていました。

対応テキスト：
text11.glb
土師器

対応モデル：
model11.glb

※下段：for Kids

出土位置



位置図

すえき み ふた
須恵器（身・蓋）



ど こうおん しょうせい つく うつわ
1200度の高温で焼成して作られた器。
こうだい み ふた
高台のつかない身と、つまみのある蓋
かんけい じょうたい しゅつど
がほぼ完形の状態で出土した。

⇐ここに合わせる

こうおん や はいいろ うつわ すえ
高温で焼かれた灰色の器のことを須恵
き しょくじ も み
器といいます。食事を盛るための身と
ふた み
その蓋がセットで見つかっています。

対応テキスト：
text12.glb
須恵器

対応モデル：
model12.glb

※下段：for Kids

越前国府発掘プロジェクト（2024年度）～越前国府跡発掘調査～

れいわ ねんど ねんど ほんこうじけいだい こくふ ちようめちがかり じっし えちぜんこくふあとはつ
令和5年度（2023年度）に本興寺境内（国府1丁目地係）で実施した越前国府跡発
くつちようさ へいあんじだい いこう けんしゅつ
掘調査では、平安時代の遺構が検出されました。

れいわ ねんど ちようさ ひがしとなり ちようさ ねんど けんしゅつ くかくみぞ つづ み
令和6年度の調査ではその東隣を調査し、5年度に検出された区画溝の続きが見つかり
みぞ ちようさく ひがし つづ みぞ はんいかくてい いた
ました。溝は調査区よりさらに東へ続いていくため、溝の範囲確定には至りません
でした。

へいあんじだい つか すえき はじき りよくゆうとうき しゅつど
なお、平安時代に使われていた須恵器や土師器、緑釉陶器などが出土しています。

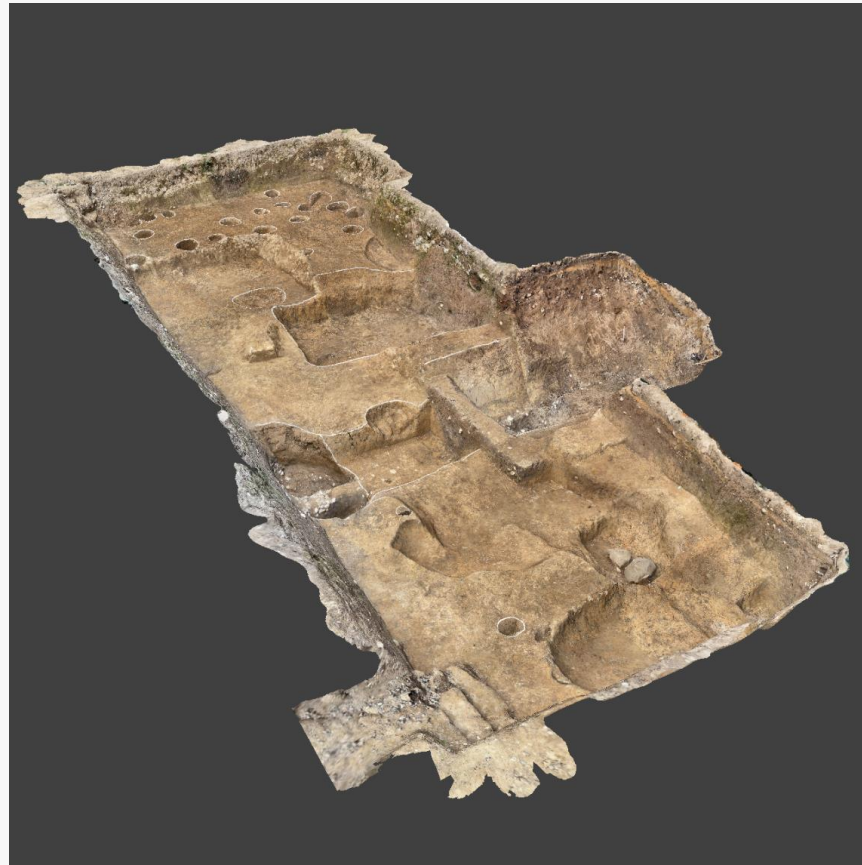


越前国府発掘プロジェクト（2024年度）～越前国府跡発掘調査～

2023年度から5年をかけて、平安時代には越前市におかれていたといわれる越前国の国府（政治の中心地）を探すための調査をしています。

2024年度の調査では、平安時代の溝が見つかっています。この溝は国府にあったお役所の周りを囲んでいた溝の一部かもしれません。

また、平安時代に使われていた食器なども見つかっています。中には、貴族やお役人しか使えなかったとされる緑色の陶器も見つかっています。



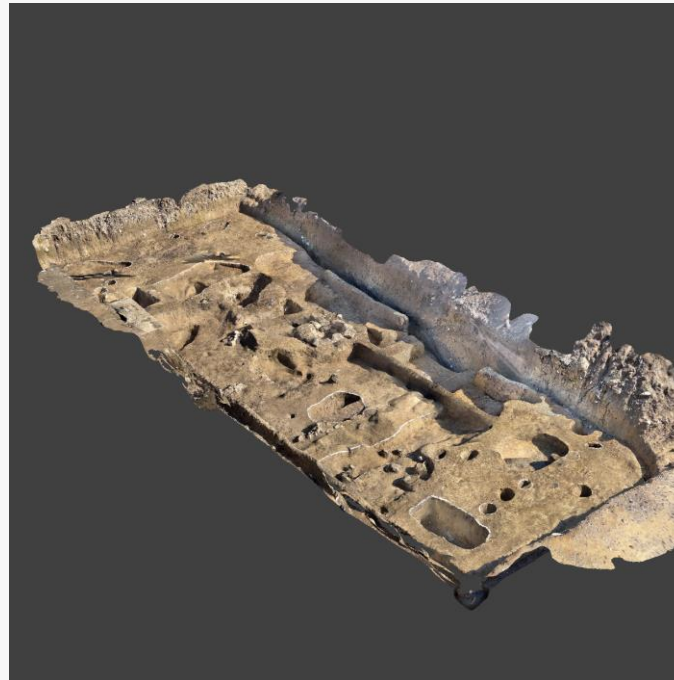
※for Kids

越前国府発掘プロジェクト（2023年度）～越前国府跡発掘調査～

れいわ ねんど ねんど ほんこうじけいだい こくふ ちょうめちがかり じっし えちぜんこくふあとはつ
令和5年度（2023年度）に本興寺境内（国府1丁目地係）で実施した越前国府跡発
つくちようさ へいあんじだい いこう けんしゅつ
掘調査では、平安時代の遺構が検出されました。

とく はば みぞ こくふ かんれん かんがしせつ くかくみぞ かのうせい えちぜんこく
特に、幅2m50cmの溝は国府に関連する官衙施設の区画溝の可能性があり、越前国
ふ しょういちかいめい あしが せいか いがい たてもの はしら た
府の所在地解明の足掛かりとなる成果になりました。それ以外にも、建物の柱を立て
さい あ ちゅうけつ へいあんじだい いぶつ う どころ けんしゅつ
る際に空けられた柱穴や、平安時代の遺物がいくつも埋まっていた土坑などが検出さ
れています。

ほか へいあんじだい こうきゅうしょつき りよくゆうとうき とうじ かたち たも
その他にも、平安時代の高級食器であった緑釉陶器や、ほとんど当時の形を保った
しゅつど すえき とく りよくゆうとうき さんそくばん よ ばん あし みつ
まま出土した須恵器があります。特に、緑釉陶器は三足盤と呼ばれる、盤に足が三つ
めずら かたち しゅつど
ついた珍しい形のものが出土しています。



えちぜんこくふはつくつ

ねんど

えちぜんこくふあとはつくつちようさ

越前国府発掘プロジェクト（2023年度）～越前国府跡発掘調査～

えちぜんし

ねんど

ねんかん

へいあんじだい

えちぜんし

越前市では、2023年度から5年間かけて、平安時代には越前市におかれていたとい

えちぜんこく

こくふ

せいじ

ちゅうしんち

さが

はつくつちようさ

おこな

われる越前国の国府（政治の中心地）を探すための発掘調査を行っています。

はつくつちようさ

へいあんじだい

ほ

みぞ

み

みぞ

やくしょ

まわ

発掘調査では平安時代に掘られた溝が見つっています。その溝はお役所の周りを

かこ

みぞ

かのうせい

いがい

たても

はしら

た

さい

あ

囲んでいた溝の可能性がありま。それ以外にも、建物の柱を立てる際に空けられた

あな

へいあんじだい

ひと

つか

うつわ

み

穴や、平安時代の人が使っていた器が見つっています。

なか

へいあんじだい

こうきゅうひん

りよくゆうとうき

よ

みどりいろ

うつわ

み

中には、平安時代には高級品とされていた緑釉陶器と呼ばれる緑色の器も見つ

ています。

こんかい

はつくつちようさ

やく

ねんまえ

えちぜんし

ひと

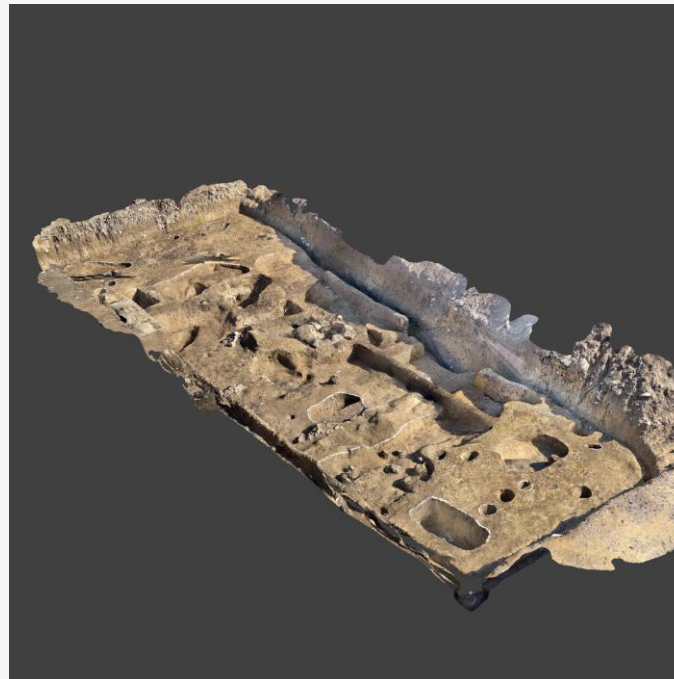
く

ようす

み

今回の発掘調査で、約1000年前の越前市には人が暮らしていた様子が見つかり

した。



※for Kids